

新温泉町まちづくりアンケート《高校生》

結果報告書

平成27年9月

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- グラフ中のNは構成比を表示する際の母数を示す。合計には無回答を含むため、各項目の合計と一致しない場合がある。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査の設計	1
4 回収結果	1
II 調査の結果	2
問 1 あなたの性別と学年、居住地についておたずねします。	2
問 2 高校卒業後の進路希望についておたずねします。	4
問 3 進学を希望する人におたずねします。進学する場合の希望地域はどこですか。	5
問 4 進学後も含めて、就職する場合の希望地域はどこですか。	6
問 5 前問で「1. 新温泉町内」以外を選んだ人におたずねします。その理由は何ですか。	7
問 6 進学後も含めて、就職する場合の希望業種は何ですか。	8
問 7 前問の選択理由は何ですか。	9
問 8 就職先を決める場合に優先する条件は何ですか。	10
問 9 新温泉町に就職する人を増やすためには、どのような仕事づくりが必要だと思いますか。	11
問 10 家族が希望する就職先はどこですか。	12
問 11 将来、どこに住みたいです。	13
問 12 進学・就職で新温泉町を離れても、将来は故郷にUターンする気持ちがありますか。	14
問 13 Uターンする気持ちがある人におたずねします。Uターンを考える時期はいつ頃ですか。	15
問 14 新温泉町に愛着を感じますか。	16
問 15 新温泉町のまちづくりに協力したいと思いますか。	17
問 16 新温泉町を若者にとって魅力的なまちとするためには、どのようなことが必要だと思いますか。	18
問 17 浜坂高校の魅力は何ですか。	20
問 18 新温泉町のまちづくりについて自由に書いてください。	22
アンケート調査票	24

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、本町の人口減少に歯止めをかけ、活気あるまちづくりを推進するために策定する新温泉町人口ビジョン及び地方創生総合戦略の基礎資料とするため、兵庫県立浜坂高等学校の生徒全員を対象にアンケート調査を行い、将来の進路やUターンの意向などを把握することを目的とする。

2 調査項目

- 将来の進路希望について
- Uターンの意向について
- 新温泉町のまちづくりについて

3 調査の設計

①調査対象

兵庫県立浜坂高等学校の全校生

②調査方法

校内配布、回収

③調査時期

平成 27 年 7 月

4 回収結果

- | | |
|------|-------|
| ①配布数 | 309 |
| ②回収数 | 300 |
| ③回収率 | 97.1% |

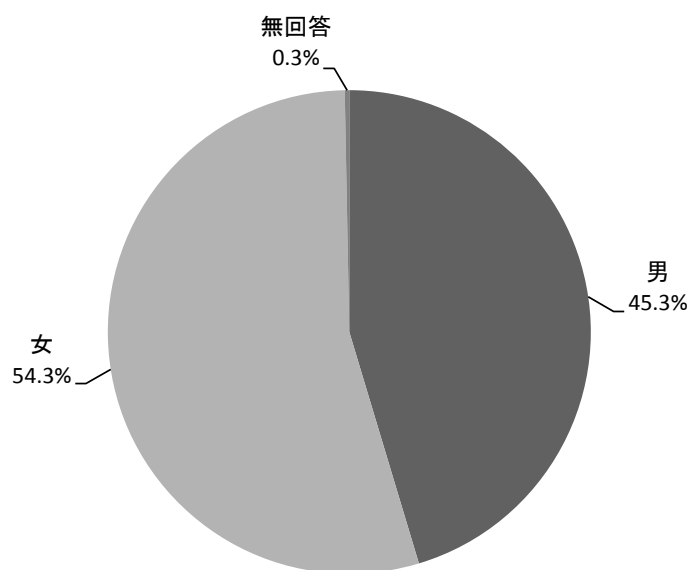
II 調査の結果

問1 あなたの性別と学年、居住地についておたずねします。〈○は1つ〉

性別は、〔男性〕が45.3%、〔女性〕が54.3%となっており、学年別では各学年100名前後となっている。居住地は、〔浜坂地域〕が55.7%、〔温泉地域〕が34.0%となっている。

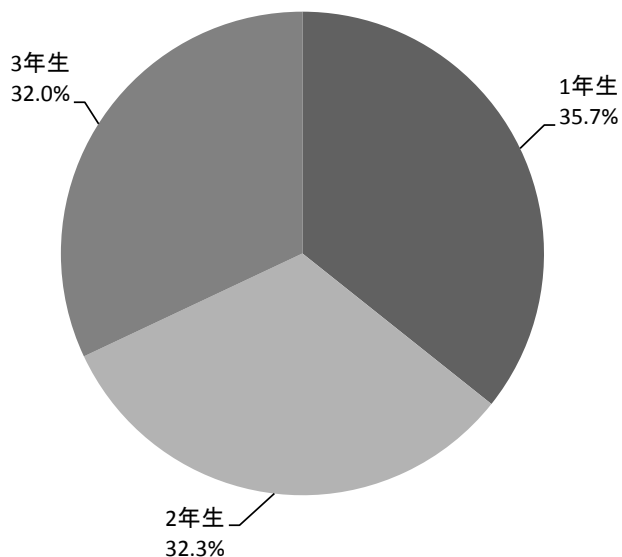
<性別>

調査数	300	100.0%
男	136	45.3%
女	163	54.3%
無回答	1	0.3%



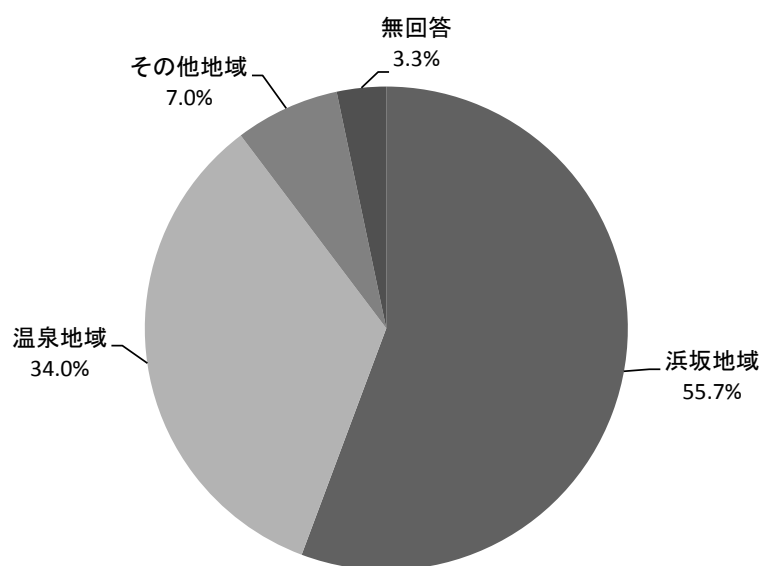
<学年>

調査数	300	100.0%
1年生	107	35.7%
2年生	97	32.3%
3年生	96	32.0%
無回答	-	-



<居住地>

調査数	300	100.0%
浜坂地域	167	55.7%
温泉地域	102	34.0%
その他地域	21	7.0%
無回答	10	3.3%



問 2 高校卒業後の進路希望についておたずねします。〈○は 1 つ〉

【全体】

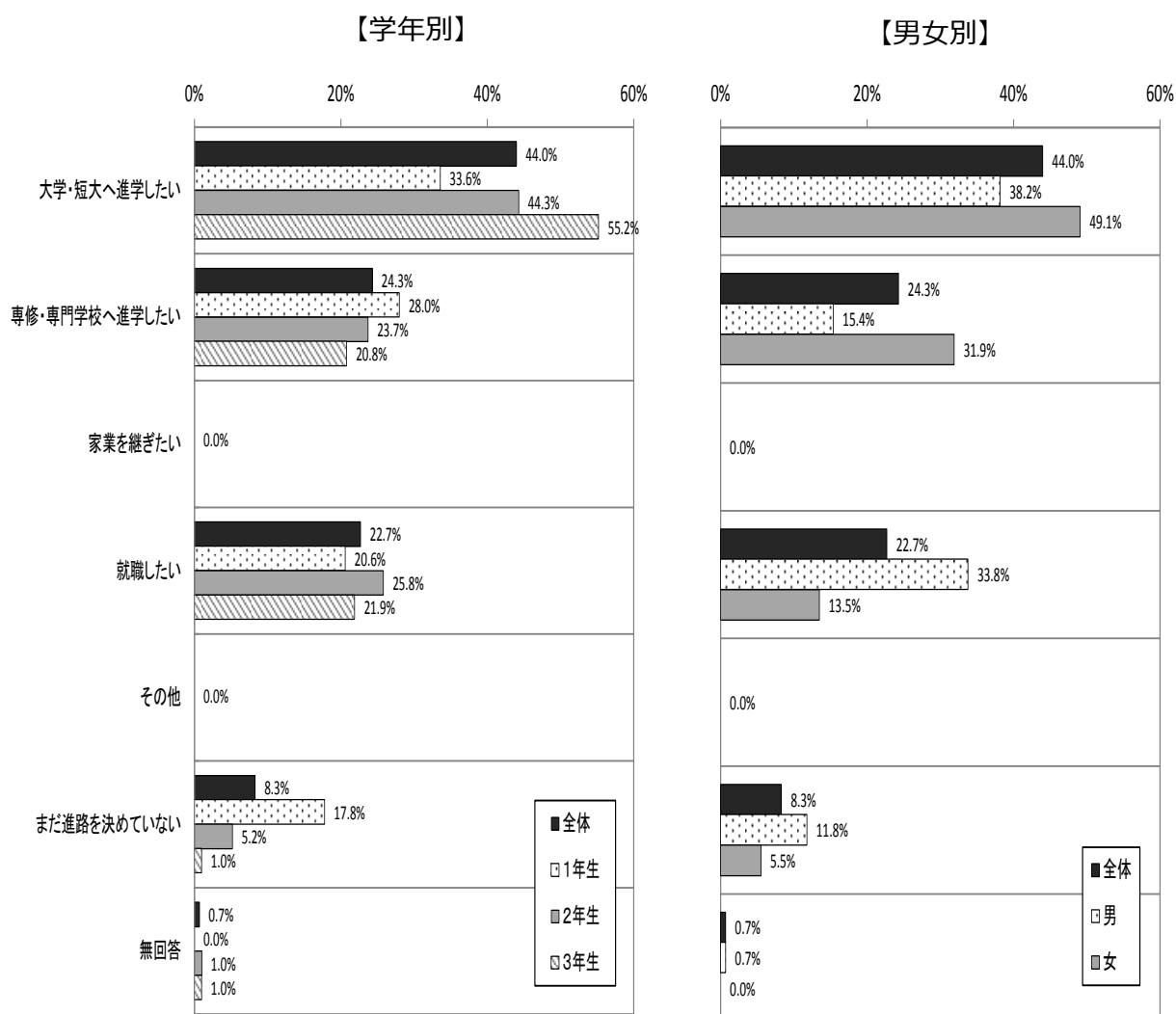
比率が最も高いのは「大学・短大へ進学したい」の 44.0%で、「専修・専門学校へ進学したい」が 24.3%、「就職したい」が 22.7%で続いており、進学希望が約 7 割を占めている。

【学年別にみた特徴】

学年が高くなるほど「大学・短大へ進学したい」の比率が高まる傾向があるが、「専修・専門学校へ進学したい」は低くなる傾向にあり、情報量が増加し希望が具体化するほど高等教育機関への進学希望が高くなると考えられる。

【男女別にみた特徴】

「大学・短大へ進学したい」と「専修・専門学校へ進学したい」の進学希望は〔女性〕の比率が高く、逆に「就職したい」は〔男性〕の比率が高い。



問 3 進学を希望する人におたずねします。進学する場合の希望地域はどこですか。

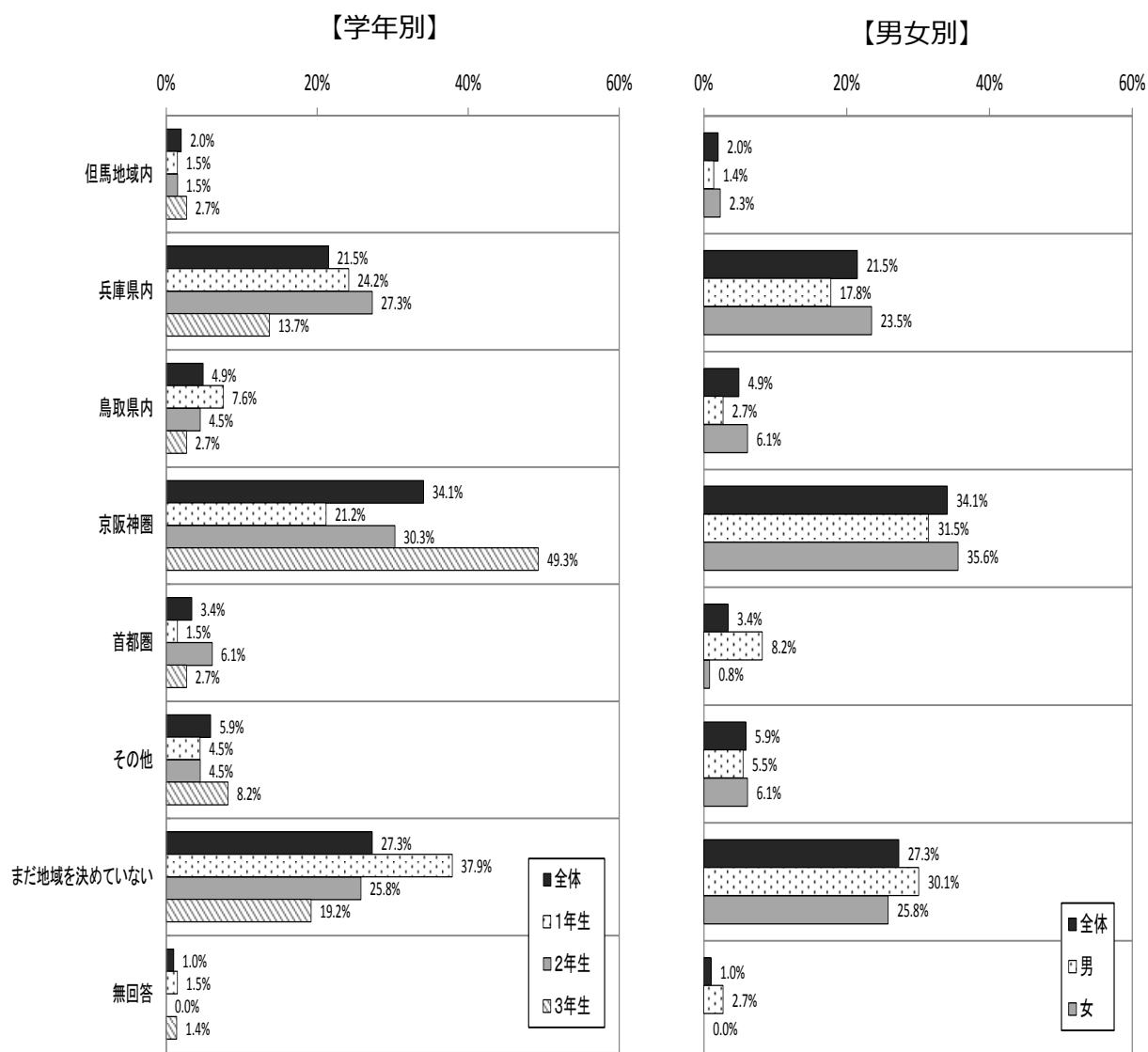
<○は1つ>

【全体】

比率が最も高いのは「京阪神圏」の 34.1%で、「兵庫県内」が 21.5%で続いている。「まだ地域を決めていない」は 27.3%である。

【学年別にみた特徴】

学年が高くなるほど「京阪神圏」の比率が高まる傾向にある。



問 4 進学後も含めて、就職する場合の希望地域はどこですか。〈○は1つ〉

【全体】

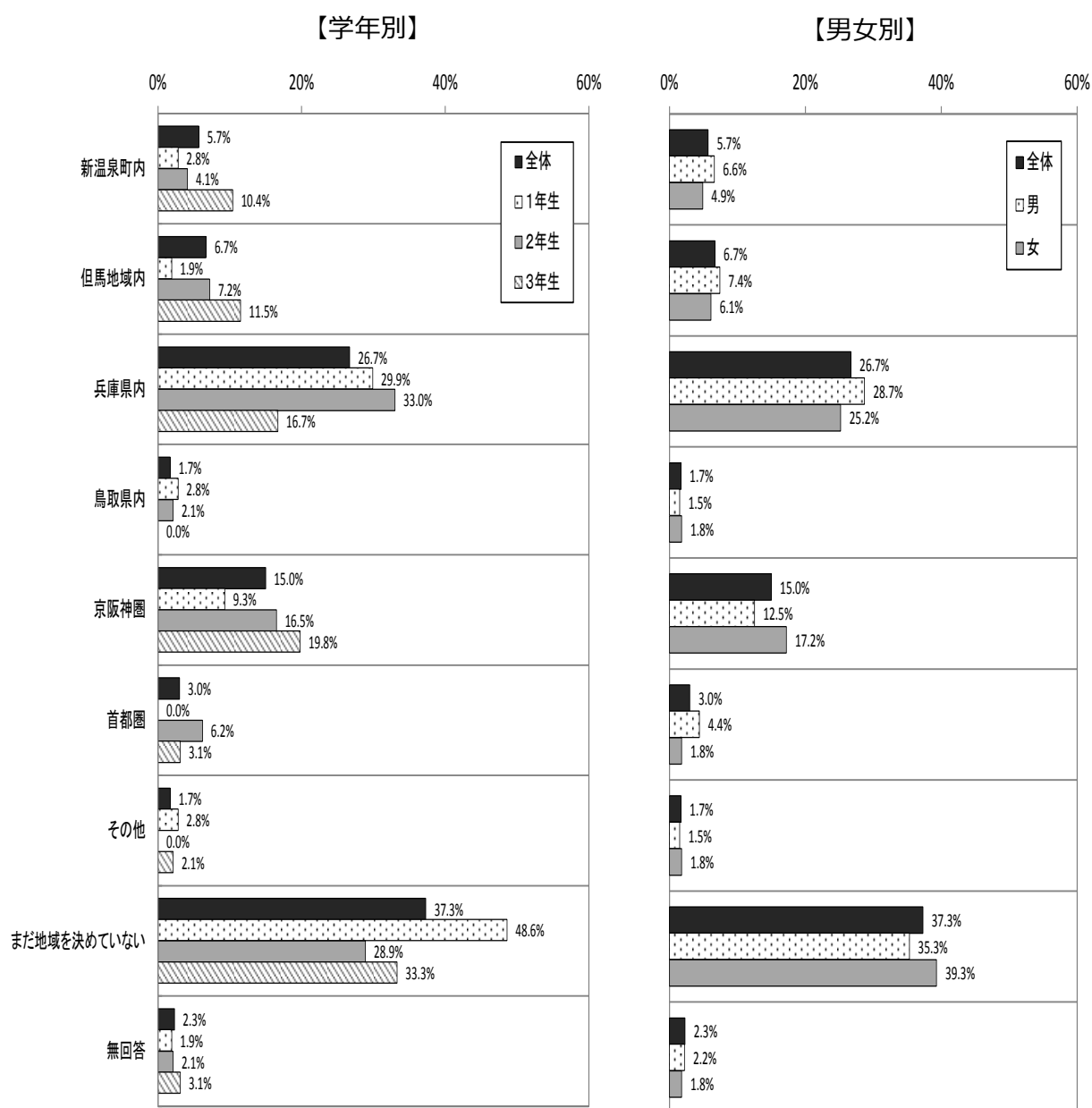
比率が最も高いのは「兵庫県内」の 26.7%で、「京阪神圏」が 15.0%が続いている。「まだ地域を決めていない」は 37.3%である。

【学年別にみた特徴】

学年が高くなるほど「京阪神圏」の比率が高い。〔3年生〕の高い順は「京阪神圏」「兵庫県内」「但馬地域内」「新温泉町内」であるが、その差は 10 ポイント内である。

【男女別にみた特徴】

「京阪神圏」は、〔男性〕より〔女性〕の方の比率が高い。

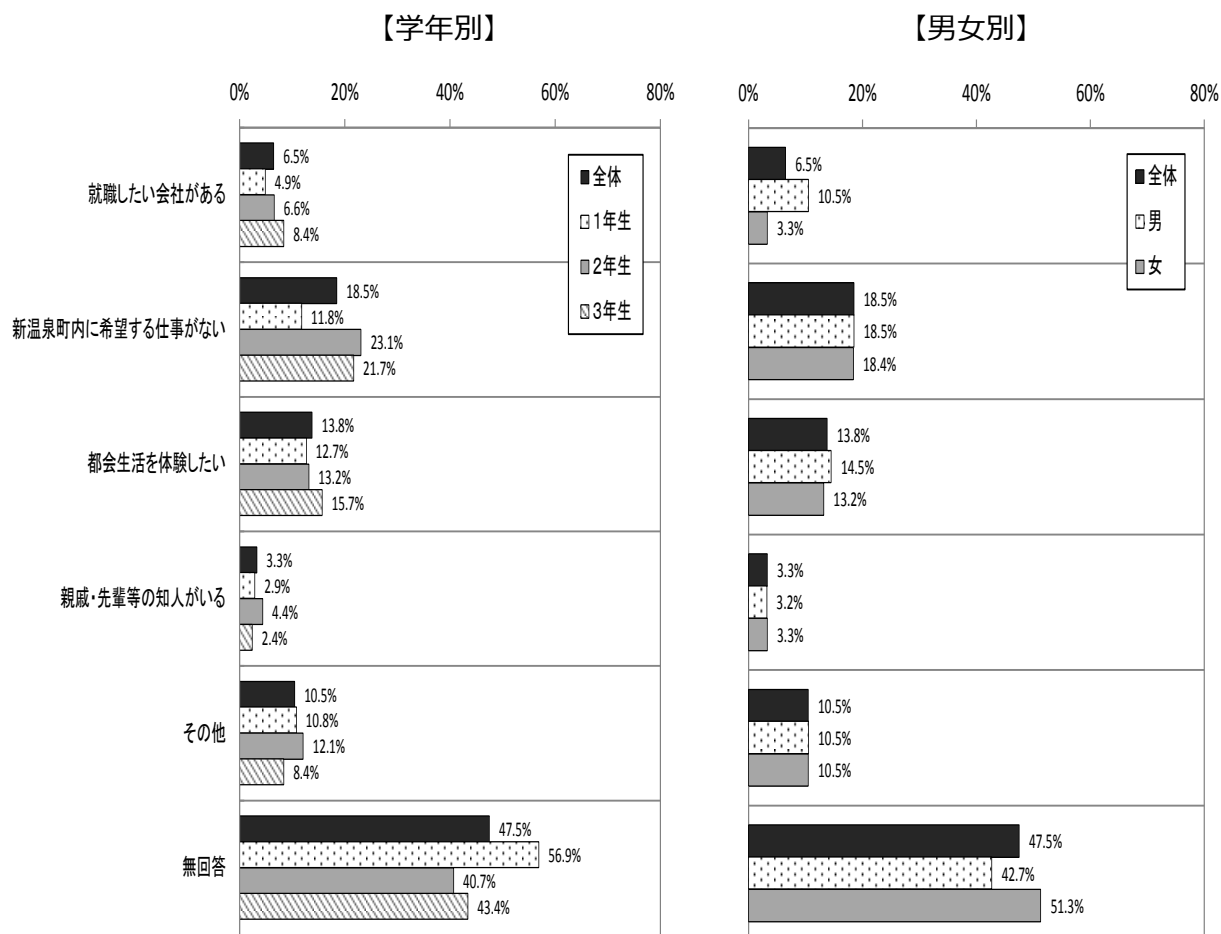


問 5 前問で、「1. 新温泉町内」以外を選んだ人におたずねします。その理由は何ですか。

<○は1つ>

【全体】

比率が最も高いのは「新温泉町内に希望する仕事がない」の 18.5%で、「都会生活を体験したい」が 13.8%で続いている。希望する仕事への就職と都会への憧れの両面がうかがえる。



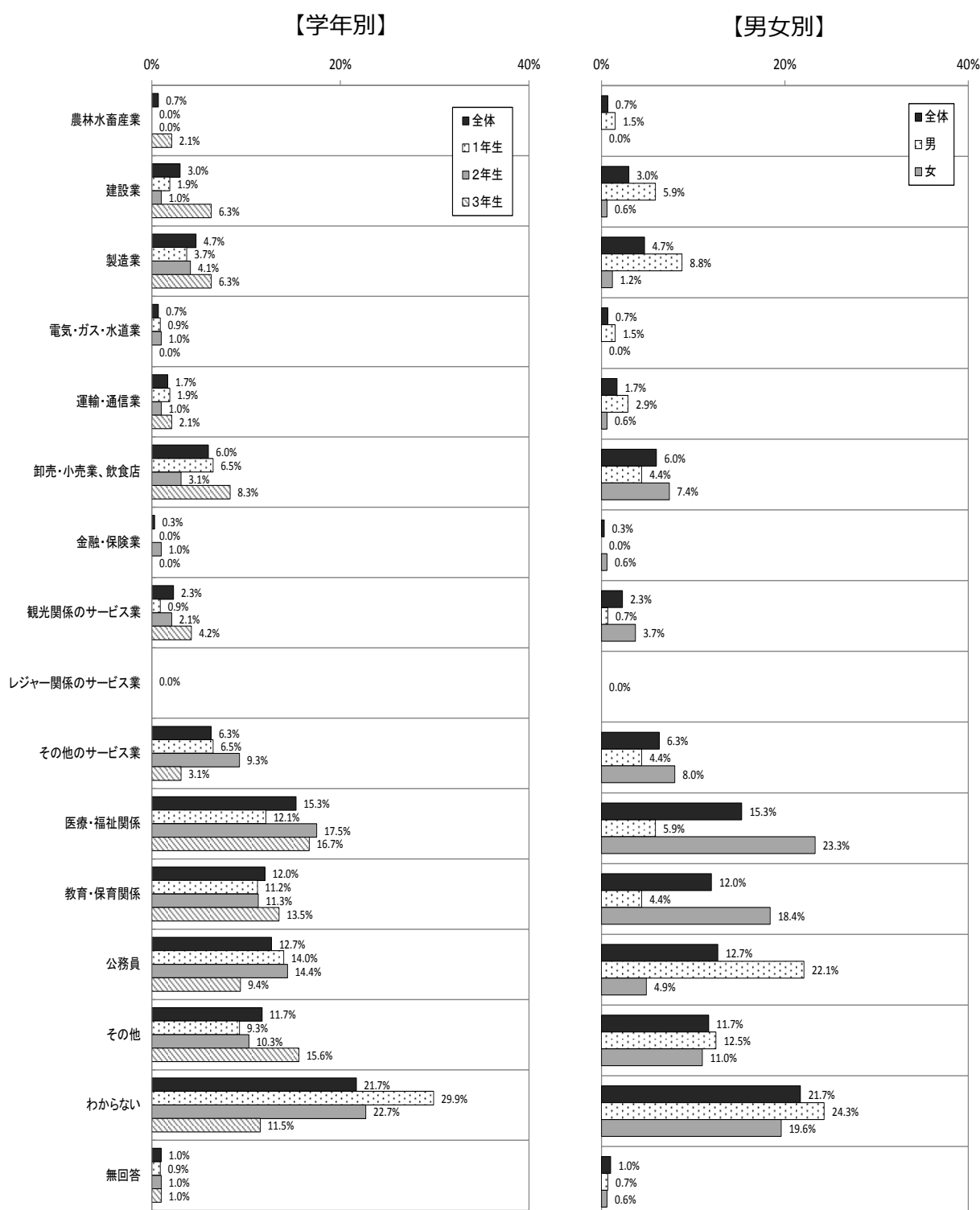
問 6 進学後も含めて、就職する場合の希望業種は何ですか。〈○は1つ〉

【全体】

比率が最も高いのは「医療・福祉関係」の15.3%で、「公務員」が12.7%、「教育・保育関係」が12.0%で続いている。健康づくりや人づくりへの希望が高いといえる。

【男女別にみた特徴】

「医療・福祉関係」と「教育・保育関係」は〔女性〕の比率が高く、「公務員」では〔男性〕の方の比率が高い。〔女性〕は健康づくりや人づくりへの希望が高いといえる。



問 7 前問の選択理由は何ですか。＜○は3つまで＞

【全体】

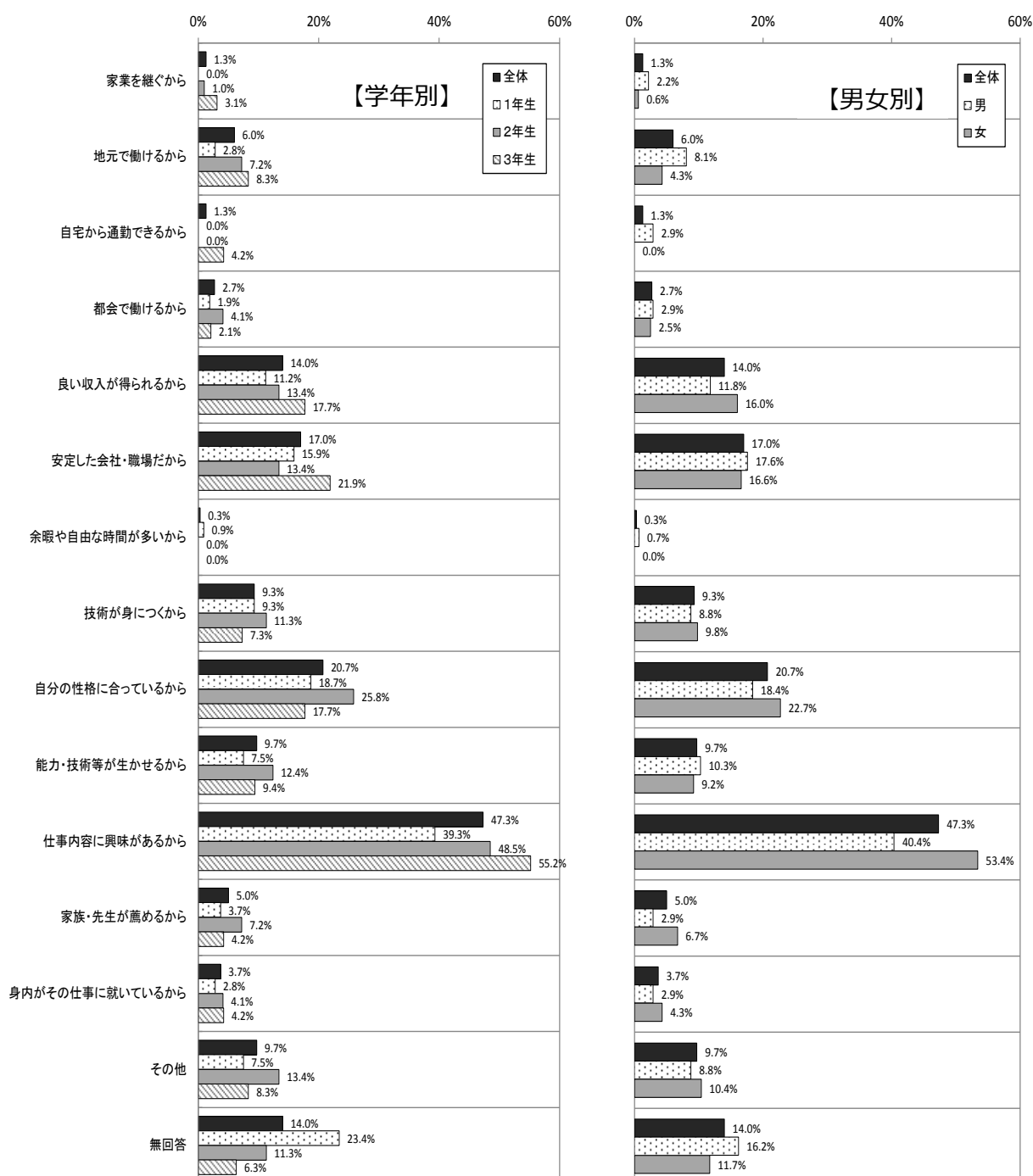
比率が最も高いのは「仕事内容に興味がある」の47.3%で、「自分の性格に合っている」が20.7%、「安定した会社・職場」が17.0%で続いており、自己実現を重視していることがうかがえる。「地元で働ける」、「自宅から通勤できる」、「都会で働ける」の地域重視は、それぞれ1割以下である。

【学年別にみた特徴】

「仕事内容に興味があるから」は学年が高くなるほど比率が高い。情報量が増加し意志決定が具体化するほど自己実現への希望が高くなると考えられる。

【男女別にみた特徴】

「仕事内容に興味があるから」は、〔男性〕より〔女性〕の方の比率が高い。



問 8 就職先を決める場合に優先する条件は何ですか。〈○は 1 つ〉

【全体】

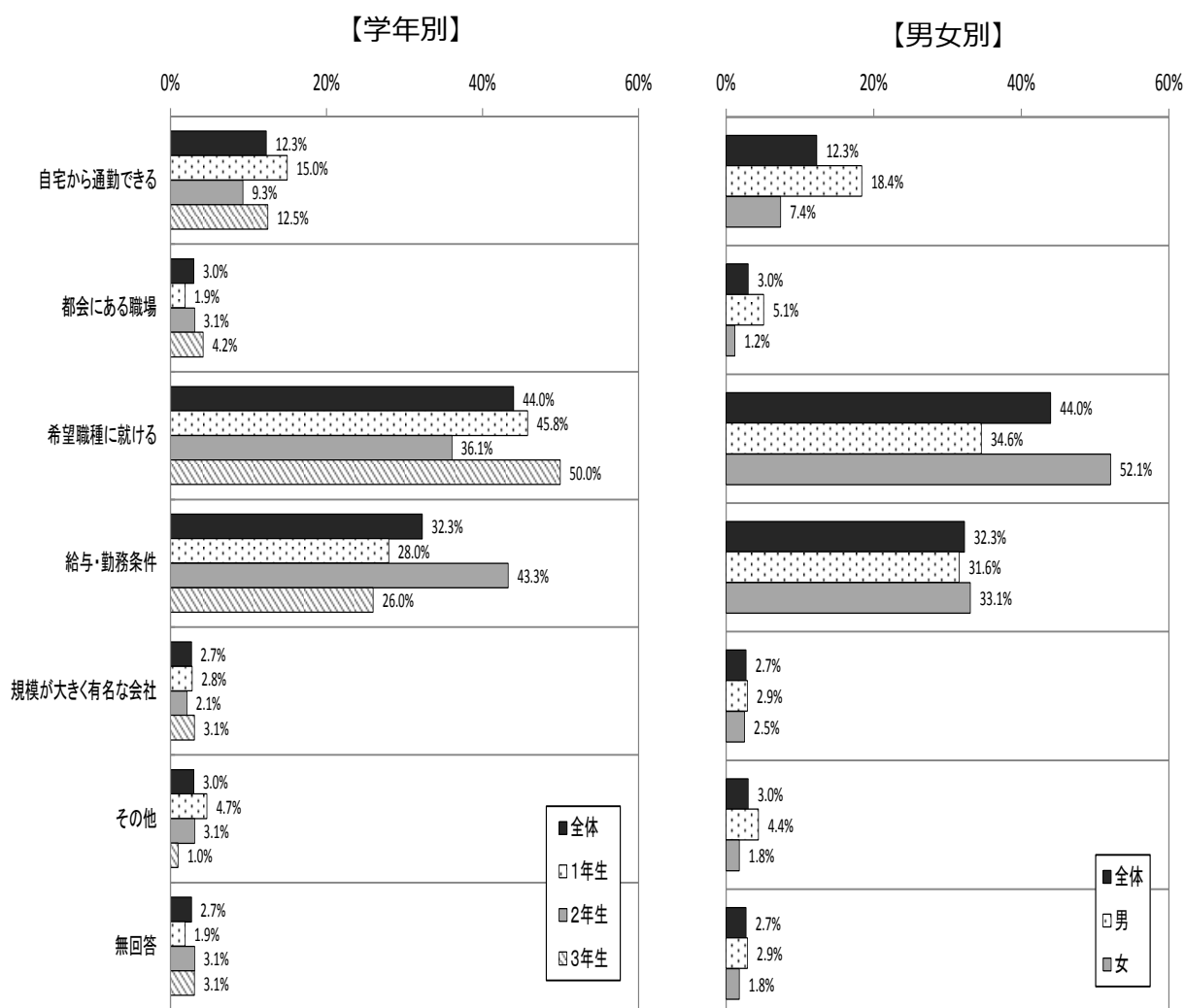
比率が最も高いのは「希望職種に就ける」の 44.0%で、「給与・勤務条件」が 32.3%、「自宅から通勤できる」が 12.3%で続いている。自己実現を重視しているが、経済面や働きやすさ等も考慮していることがうかがえる。

【学年別にみた特徴】

〔2年生〕については、「希望職種に就ける」より「給与・勤務条件」の方の比率が高い。

【男女別にみた特徴】

「希望職種に就ける」は〔女性〕の方の比率が高く、「自宅から通勤できる」は〔男性〕の方の比率が高い。〔女性〕は自己実現重視、〔男性〕は地元重視の傾向が強いことがうかがえる。



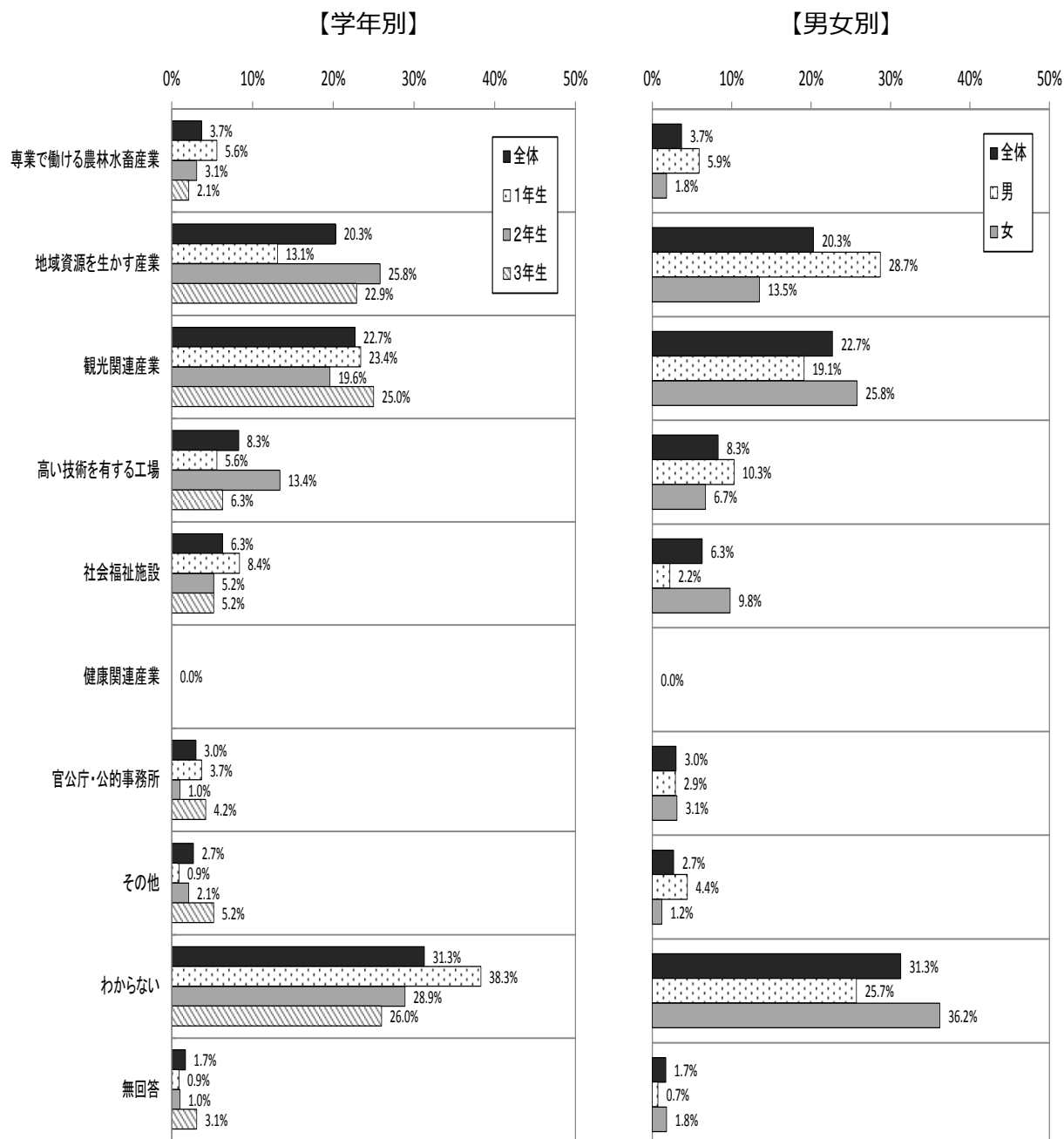
問 9 新温泉町に就職する人を増やすためには、どのような仕事づくりが必要だと思いますか。〈○は1つ〉

【全体】

比率が最も高いのは「観光関連産業」の22.7%で、「地域資源を生かす産業」が20.3%が続いている。まちの活性化には、豊かで多様な自然の恵みを生かす仕事が必要であると考えていることがうかがえる。

【男女別にみた特徴】

「観光関連産業」は〔女性〕、「地域資源を生かす産業」は〔男性〕の方の比率が高い。〔女性〕は対人関係のサービス業、〔男性〕は海、山等の地域資源を生かす第1次産業への必要性を感じていると考えられる。



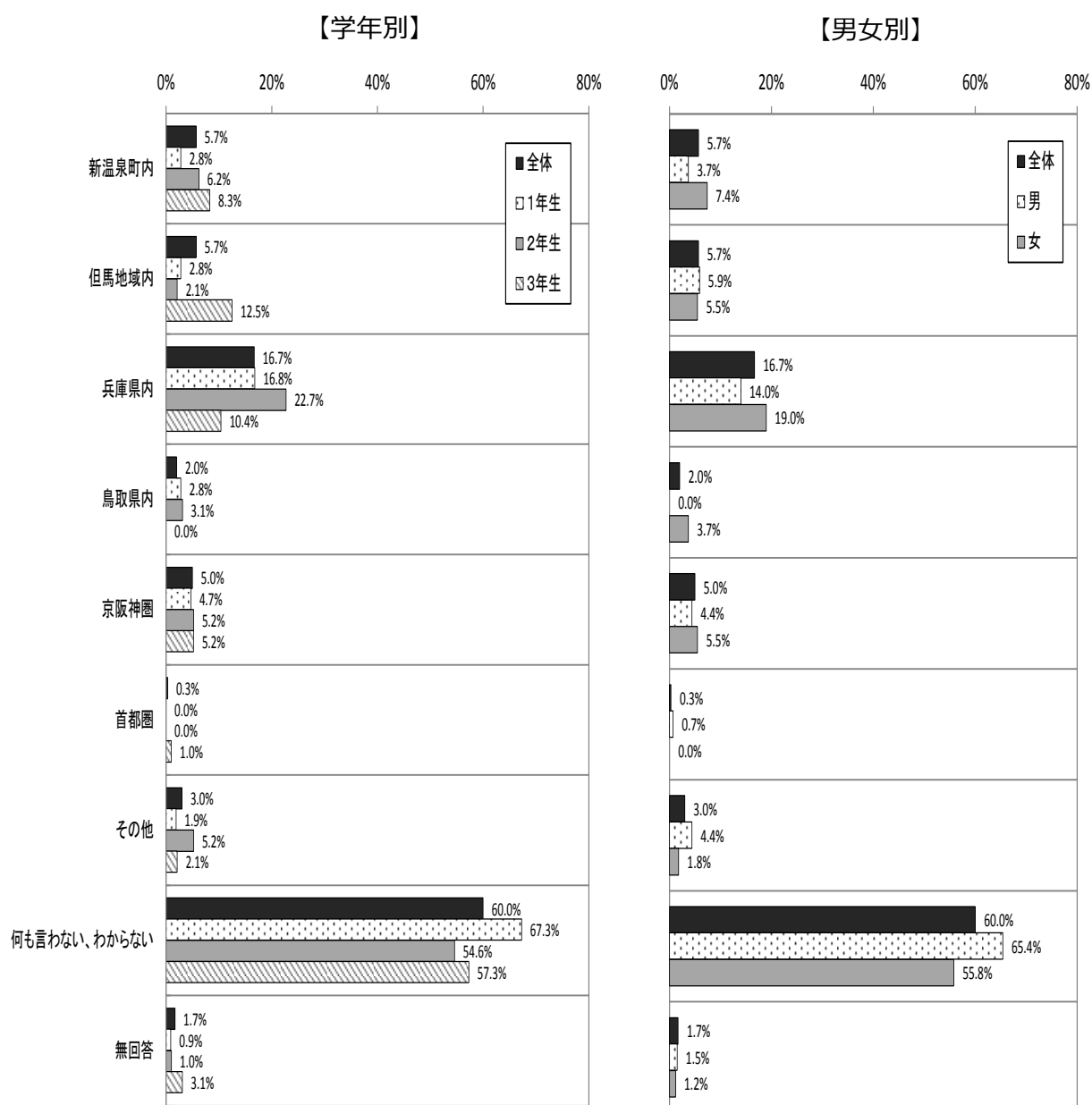
問 10 家族が希望する就職先はどこですか。〈○は 1 つ〉

【全体】

比率が最も高いのは「兵庫県内」の 16.7%で、「新温泉町内」「但馬地域内」が 5.7%が続いている。「何も言わない、わからない」は 60.0%である。

【学年別にみた特徴】

〔3年生〕は、高い順に「但馬地域内」「兵庫県内」「新温泉町内」となっている。進路の希望が具体化するときには就職希望地域が変化することがうかがえる。



問 11 将来、どこに住みたいですか。〈○は1つ〉

【全体】

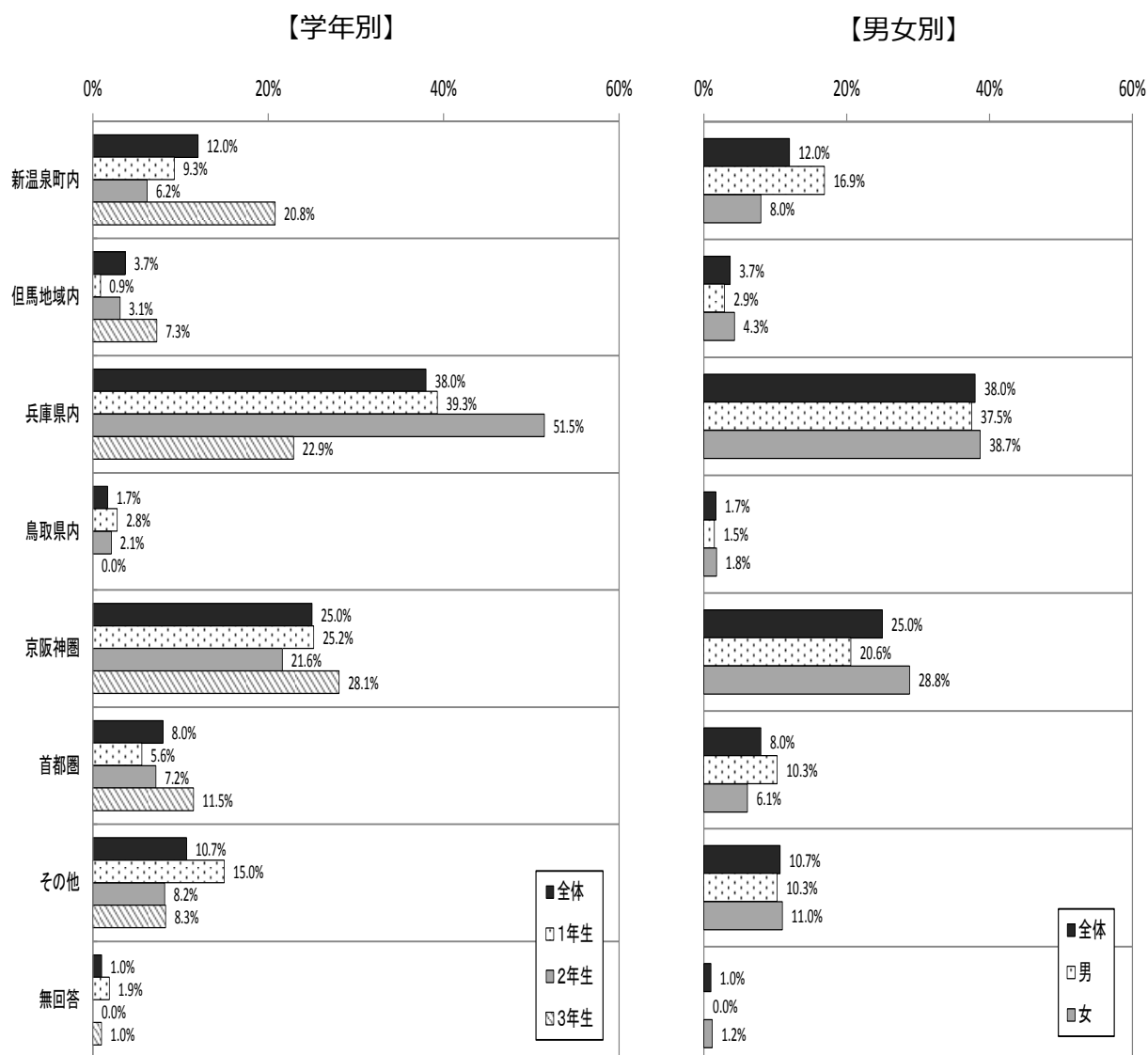
比率が最も高いのは「兵庫県内」の 38.0%で、「京阪神圏」が 25.0%、「新温泉町内」が 12.0%で続いている。

【学年別にみた特徴】

〔3年生〕は、比率が高い順に「京阪神圏」「兵庫県内」「新温泉町内」で、その差は10ポイント内である。進路の希望が具体化するとき就職希望地域が変化することがうかがえる。

【男女別にみた特徴】

「兵庫県内」は同程度であるが、「京阪神圏」は〔女性〕の比率が高く、「新温泉町内」は〔男性〕の比率が高い。〔女性〕はふるさとに近い都会希望が高いといえる。



問 12 進学・就職で新温泉町を離れても、将来は故郷にUターンする気持ちがありますか。

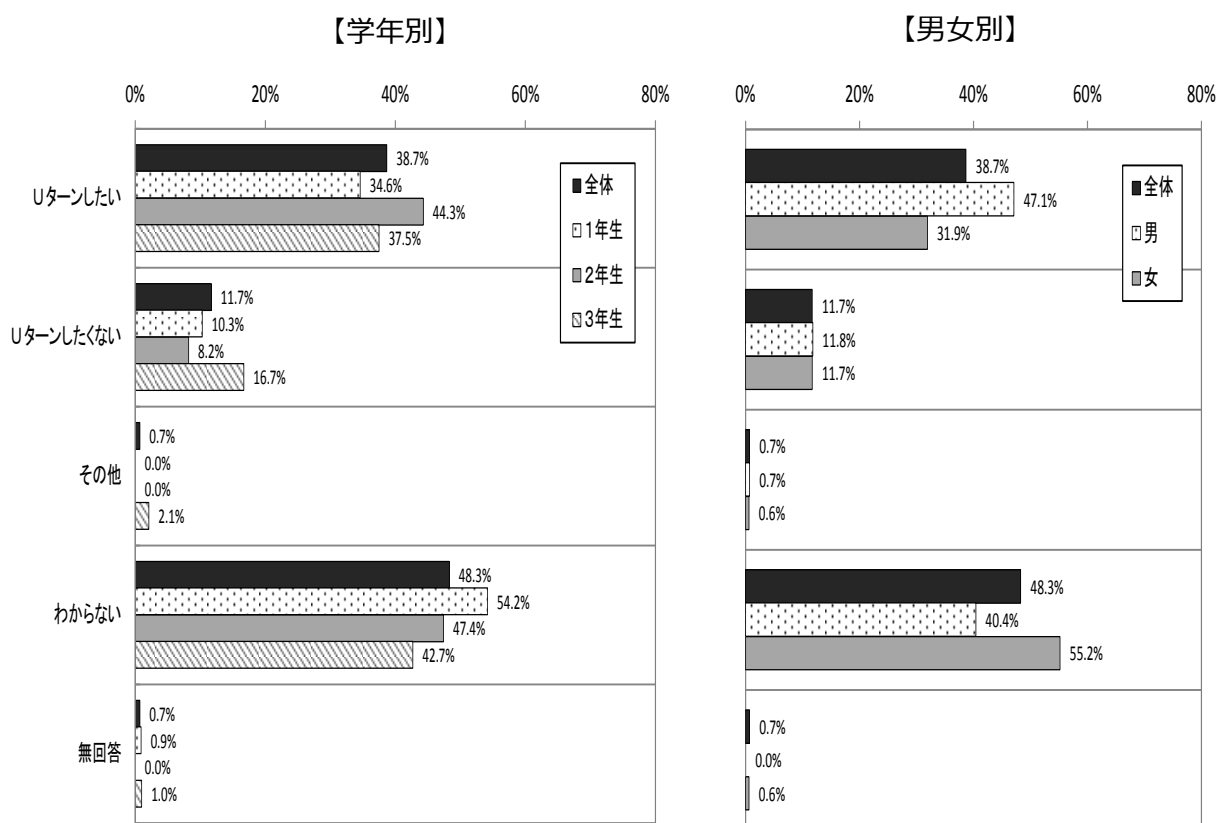
<○は1つ>

【全体】

「Uターンしたい」は38.7%で、「Uターンしたくない」が11.7%となっている。

【男女別にみた特徴】

「Uターンしたい」は、〔女性〕より〔男性〕の方の比率が高い。



問 13 Uターンする気持ちがある人におたずねします。Uターンを考える時期はいつ頃ですか。〈○は1つ〉

【全体】

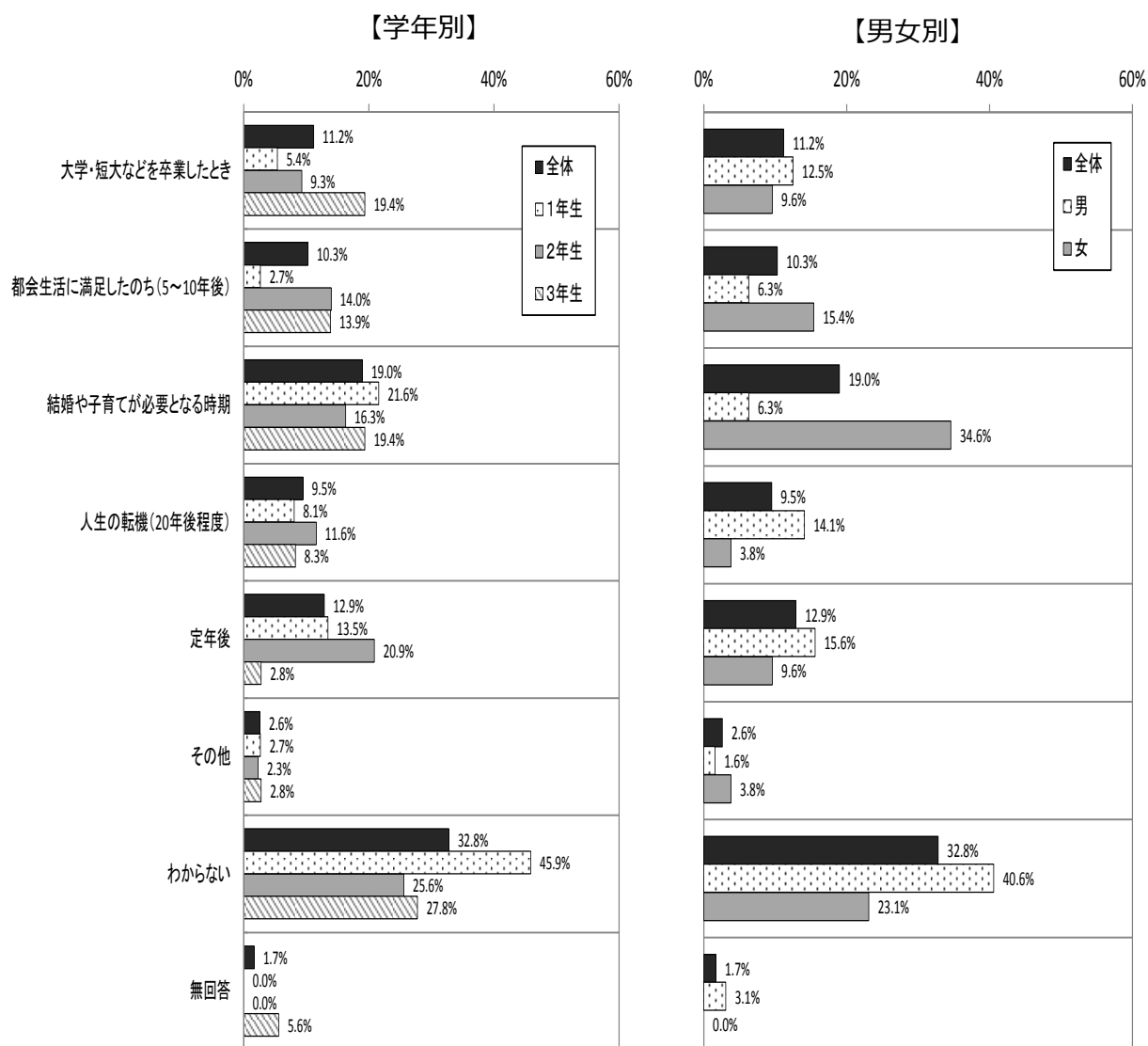
比率が最も高いのは「結婚や子育てが必要となる時期」の19.0%で、「定年後」が12.9%、「大学・短大などを卒業したとき」が11.2%、「都会生活に満足したのち」が10.3%で続いている。結婚時期以外は大きな差がなく、個人的な希望等が強いことがうかがえる。

【学年別にみた特徴】

〔3年生〕は、「大学・短大などを卒業したとき」「結婚や子育てが必要となる時期」の比率が高く、「定年後」は最も低い。進路の希望が具体化するため、時期が早まることがうかがえる。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕は「結婚や子育てが必要となる時期」、次に「都会生活に満足したのち」の比率が高く、それぞれ〔男性〕より高い。〔女性〕は自己実現やライフスタイルが安定した時期に高くなっていることがうかがえる。



問 14 新温泉町に愛着を感じますか。〈○は1つ〉

【全体】

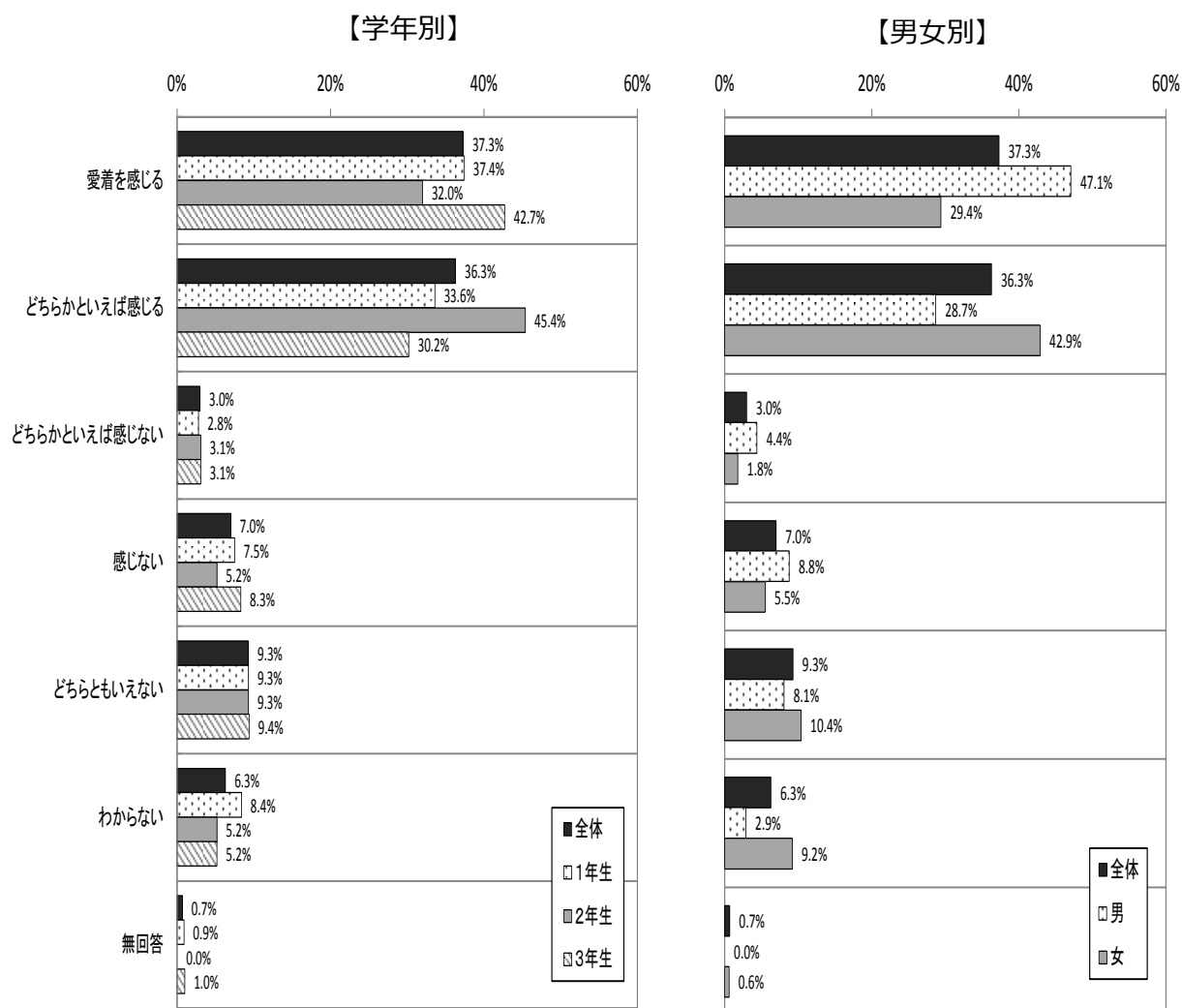
「愛着を感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせると、約7割が愛着を感じている。

【学年別にみた特徴】

〔3年生〕は、「愛着を感じる」の比率が高い。

【男女別にみた特徴】

「愛着を感じる」は、〔女性〕より〔男性〕の方の比率が高い。



問 15 新温泉町のまちづくりに協力したいと思いますか。〈○は 1 つ〉

【全体】

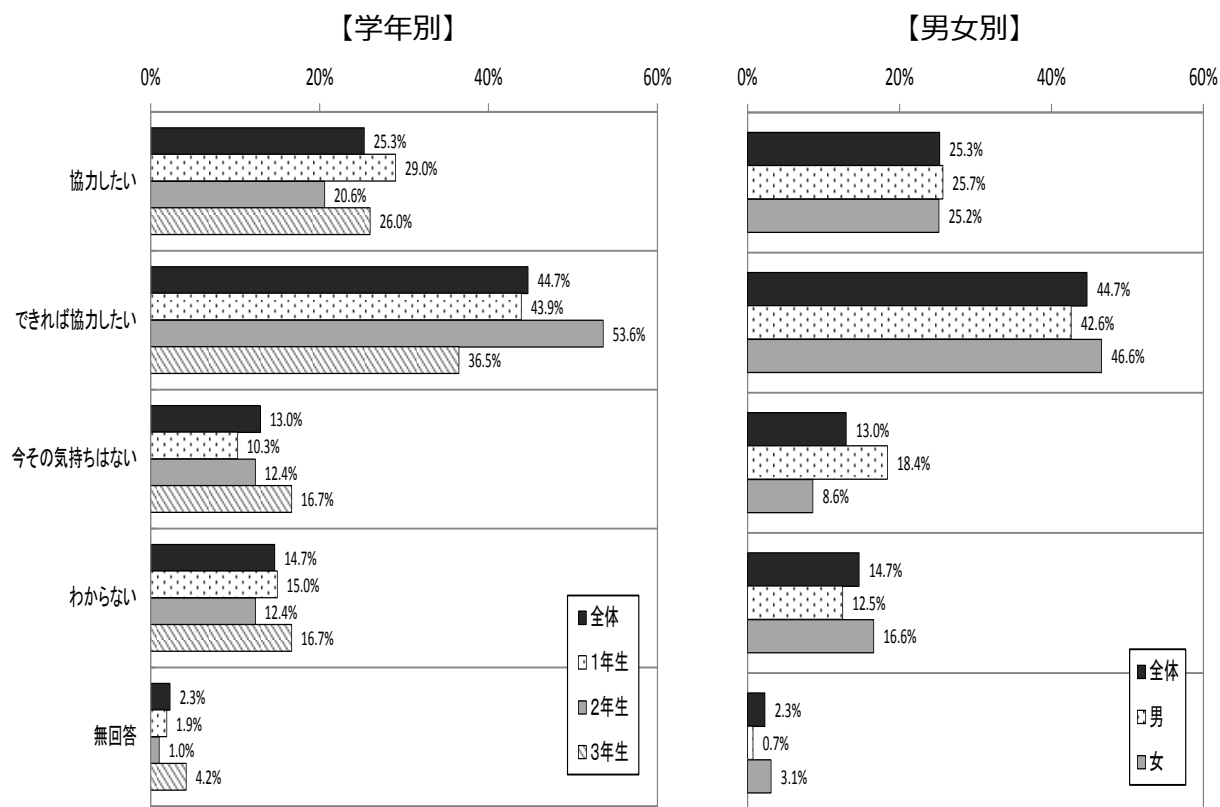
「協力したい」と「できれば協力したい」を合わせると、7割が協力の意向をもっている。

【学年別にみた特徴】

「今その気持ちはない」は学年が高くなるほど比率が高い。進路の希望が具体化するため、自己実現等への志向が強まり、まちづくりへの関心が弱まることうかがえる。

【男女別にみた特徴】

「今その気持ちはない」は、〔女性〕より〔男性〕の方の比率が高い。〔男性〕は前問で「愛着を感じる」が、「今その気持ちはない」面もあり、個人差があることうかがえる。



問 16 新温泉町を若者にとって魅力的なまちとするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

＜主な意見＞

●情報発信

- ・もっと町の良さをアピールする
- ・いろんな活動をして全国や世界中に広める
- ・カニやホタルイカを宣伝する
- ・海産物を有名にする
- ・スポーツなど地域を宣伝するものを沢山つくり力を入れる

●豊かな資源

- ・海、山を生かす
- ・おいしい食べ物がある
- ・お祭りをもっと盛り上げる

●にぎわい、商業振興

- ・イオンなど若者たちが遊べる店やショッピングできる場所づくり
- ・みんなが来たいと思うレジャー施設をつくる
- ・もう少し施設（市民プールか小規模なゲームセンター）があればいい
- ・もっとコンビニやカフェなどをもうけて若者が興味をもちそうなものを増やす
- ・もっとみんなで集まれる場所をつくる
- ・もっと飲食店を増やす
- ・駅周辺を活性化させる
- ・娯楽施設を増やし、バス・汽車の交通機関を整える
- ・空地进行有効活用して、楽しめる場所をつくる
- ・公園もあるべきだと思う
- ・地域での若者が楽しめるイベントをたくさん開催する。せっかく自然がいっぱいあるので、今都会で流行っている「ナイトラン」とかができそうである
- ・店を増やす。温泉を活かすものをつくる

●参加等

- ・イベントなどの開催を多くする。ボランティアなどに積極的に参加してもらう
- ・若者（高校生）がもっと積極的に町づくりにたずさわる
- ・若者も協力できるような行事をもっと行う
- ・大人から変わらないとダメだと思う。ただ自分の思い通りに地域をつくりあげるのではなく、もう少し若者にも気をくばしてほしい。まずそこからだと思う（若者の意見をもっと取り入れてほしい）
- ・地域との交流をよくし、あいさつをし、困っている人を助けたりし、おたがいに協力しあう
- ・明るくて、挨拶ができ、そして、仕事をちゃんとこなす人達が必要
- ・バイトや企業など働き口をつくる。伝統をつなぐことも必要だがこだわりすぎず、新しいことを

取り入れていく（旅館ではなく格安のホテルをつくり新温泉町に泊まってもらうなど）

- ・みんなで何かができる行事を増やす

●美しさ

- ・町をきれいにする
- ・クリーン作戦などを通して自然豊かな町にする
- ・海辺をきれいにする
- ・きれいな自然を維持する（サンビーチがきれい、ゴミがないなど）
- ・若者だけではないかもしれないが、公共施設の設備（トイレなど）をきれいにする
- ・花をいっぱい植える

●観光

- ・もっと観光を周りに発信していく
- ・もっと観光場所を増やす
- ・観光客がとだえないように、季節ごとに何かプランを計画する
- ・観光業をもっと活発化させる

●雇用

- ・企業を増やして、雇用人数を拡大する
- ・まず小規模な会社や職場をつくり、若者に働く場を与え、若者が増えたら大きな会社などをつくり若者が多い町にする
- ・会社や技術などの高い工場をつくり、他のところにはない魅力を！

●交流等

- ・就職先を増やし、集合住宅などをつくり外から人を呼ぶ
- ・都会と同じようなことをして若者を寄せ集めるよりも、今あるもの・ことなどで他にないものをつくり、年齢層の幅を広げる。行ってみたいという気持ちをもたせる。そのほうが町のためにも町民のためにも良いのではないかな

●その他

- ・公共交通機関、特に成人でなくても利用できるバス・電車の便を増やすこと。また新温泉町の中でも浜坂とか温泉にしぼるのではなく、他の地区も最大限にすること。産業も同じく、水産だけではなく山の資源も利用すること
- ・但馬牛の存在を全国の人に知ってもらう。住む場所、仕事の場所を増やす。温泉（日本一温度が高い）、水産物（ホタルイカなど）、行事（かくれんぼ大会など）の知名度を上げる
- ・もっと新温泉町の良さを若者に伝え、また、就職先を充実させることが必要だと思う
- ・若い人達にもっと自分の町を知って、すばらしさを感じる
- ・誇りをもっていえる場所づくり
- ・若者同士の交流をもっと増やす
- ・町民全員が本当に新温泉町を活気づけたいと思うこと など

問 17 浜坂高校の魅力は何ですか。

<主な意見>

●校風

- ・「伝統がある」
- ・校舎に歴史を感じる
- ・校則が厳しい
- ・元気で明るい学校
- ・おだやか
- ・のびのびとした校風
- ・おちついている
- ・校歌を大きな声で歌える
- ・文化祭が楽しい
- ・勉強だけではなく部活動にも力を入れられる
- ・時間に余裕がある

●立地環境

- ・つくられた場所自体良い場所
- ・駅から歩いて行ける
- ・音が静か
- ・海、温泉、自然など、すぐ近くに、色々なものがある
- ・海が近い、挨拶ができる、校歌がいい
- ・海が近くにあり気持ちよいところ
- ・海に近い。町や町民を大切にしている
- ・海産物が有名、食べ物が新鮮
- ・海風が吹くこと、涼しい
- ・季節をすぐに感じとれる
- ・空がきれいにみえる
- ・広い所

●生徒の気質

- ・元気がある、個性が強い、仲間意識や団結力など目に見えない力がある
- ・挨拶、身なり、頭髪などがよい
- ・いじめがない
- ・とても良い生徒が多い
- ・ひとクラスごとにある団結力
- ・まじめな人が多い
- ・みんなが素直
- ・みんなや先輩がやさしい
- ・みんな仲が良くて、協力的

- ・一人一人が自分の責任をはたしている
- ・一人一人のびのびと学校生活を送れる
- ・礼儀正しい
- ・部活動、学習ともに積極的にがんばろうとする人が多い
- ・明るくて1人1人が進んであいさつしている
- ・行動がはやくできる
- ・自分たちで行動できる
- ・人が温かい
- ・生徒がよく挨拶する、有名な大学に入れる、地域に貢献する活動を行っている
- ・生徒が落ち着いている
- 学習内容、活動
- ・落ち着いて勉強することができる
- ・検定に積極的に取り組む
- ・選択教科が多い
- ・体験活動ができる
- ・景色、地域に根づいた学習、部活
- ・サンビーチや松林のクリーン作戦などボランティア活動をしている
- ・空気がきれいで、緑が多い。地域活性化に関する取組を多く行っている
- ・行事がある時はしっかり協力し合いながらする
- ・行事が充実している
- ・自分の好きなことができる
- 先生の評価
- ・生徒のために動いてくれる
- ・先生がおもしろく、優しい
- ・先生との距離の近さ
- ・先生方が熱心に指導して下さる
- 地域との関係性
- ・ふるさとして感じ
- ・地域があってこそその高校活動がたたかい
- ・地域と密着していて地域のことを学べる
- ・地域に貢献し、地域から愛されている事
- ・地域の住民の意見をよく取り入れる
- ・地域の人々との交流がある
- ・地元深く貢献している
- ・地元のことについて考えることができる など

問 18 新温泉町のまちづくりについて自由に書いてください。

<主な意見>

●情報発信

- ・アピールをもっとする
- ・ちくわなど特産物を有名にさせる
- ・やはり町外の人に新温泉町を知ってもらうことが大切だと思う。そのためには、イベントなどを通して宣伝していくことが不可欠である
- ・ゆるキャラをもっとつakって、そのイベントを盛んに行うと少しずつでも新温泉町のことが周りに知られると思うし、町内も盛り上げられると思います
- ・温泉をもっと売り出していく
- ・漁業が盛んな町として、これからも「松葉ガニ日本一」など日本に新温泉町を広めていったらいいと思います
- ・今の町でも十分魅力的だと思いますが、その良さを多くの新温泉町を知らない人にも知ってもらいたいです
- ・私たちが住む浜坂はたしかに「田舎」かもしれないけれど、いいところもたくさんあるし、もっといろいろな人に知ってほしいと思います
- ・福祉関係の充実、資源をもっと活かしていくこと、PR活動に力を入れる
- ・新温泉町にお金を寄付してくれたら、代わりにギフト（例：但馬牛）などをプレゼントする
- ・新温泉町を舞台にした物語をアニメーションや小説にすると自然と人が集まると思う
- ・交通の便がもう少し良ければ、温泉・浜坂を行きやすくなると思う。自動車道ができるのならそれにあって町の良さを売り出せるようにする。通った時、寄ろうかなと思える道の駅をつくったりする。若者が帰ってきやすくするため、子育て支援など長年住めるようにしていったらいいのかなと思いました

●参加、協力

- ・これから協力できることは、していきたいです
- ・もっと学生がこの町の活性化に関われたらいいと思います。“若者の力”こそ活性化につながる一つのポイントだと思いますが、今のところ、まだそれができていないように思います。案外、若い人も「この町をもっと良くしたい」と思っている人は多いと思います。あとは、そんな人たちをどう生かすかが大切になってくると思います
- ・もっと私たち若者が地域の行事などに参加しないといけないと思います。今よりも新温泉町を盛り上げたいです
- ・高校生や中学生が参加できるプロジェクトをもっと増やすべき

●観光

- ・カニや牛肉など名産品をもっと広くに知れわたらせて観光客を増やす
- ・新温泉町には、但馬牛、松葉ガニ、ホタルイカ等の特産物がたくさんあります。より多くの観光客に来てもらうために、それらを使った新しい料理を開発してみてもいいと思いました
- ・湯村のゆでたまごにるところや、その近くの川、夜になったらもっと照らしたらよくなると思

う

●清掃

- ・きれいだと思う
- ・きれいな町にする
- ・積極的な清掃活動

●祭り等

- ・祭りが楽しいと思う
- ・山や海などの自然を生かしたイベントをもっと増やす

●人とのつながり

- ・挨拶を大事に
- ・地域での挨拶運動があり、人とのつながりを感じることができるのでとても良いところだと思う

●施設整備

- ・井土の空地に公園など子どもが楽しめるものが必要
- ・屋内施設にもっと楽しめるものが欲しい

●その他

- ・新温泉町にはたくさんの観光資源がありとても良いところだと思います。しかし、もう少し就職先を増やしたり福祉の充実を図らないと、人が定住しないように思います
- ・但馬牛が有名だったり、カニ・ホタルイカなど誇ることでできるものがあったり、観光業が盛んなのでそこはいいと思う。しかし若い人たちの世代から見れば、遊ぶ所が少なかったりして少し不便ではないかと思う
- ・空き家を生かす など

新温泉町 まちづくりアンケート

新温泉町では、人口減少に歯止めをかけ、活気あるまちづくりを推進するため、新温泉町人口ビジョン及び地方創生総合戦略を今年度中に策定することとしています。

そこで、次代を担う高校生の皆さんに、将来の進路や住みたい場所などをお聞きするため、アンケートを実施します。

なお、アンケートは、兵庫県立浜坂高等学校の生徒全員にお願いしており、回答いただいた内容は統計データとしてのみ使わせていただきます。

そのため、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ありませんので、安心して普段考えていることをありのままに回答してください。

平成27年7月

新温泉町長 岡本 英樹

アンケートに回答のうえ、担任の先生に提出してください。

回答にあたっての注意

- 1 各質問について、これだと思った番号に「○」をしてください。
- 2 質問の後に、例えば<○は1つ>、<○は3つまで>というように○をする数に指定がありますので、注意してください。
- 3 「その他」を選んだときは、() 内に自分の考えを記入してください。
- 4 アンケートにお名前を記入していただく必要はありません。

問1 あなたの性別と学年、居住地についておたずねします。＜○は1つ＞

性 別	1. 男	2. 女
学 年	1. 1年生	2. 2年生 3. 3年生
居住地	1. 浜坂地域	2. 温泉地域 3. その他地域（ ）

問2 高校卒業後の進路希望についておたずねします。＜○は1つ＞

1. 大学・短大へ進学したい	2. 専修・専門学校へ進学したい
3. 家業を継ぎたい	4. 就職したい
5. その他（具体的に： ）	6. まだ進路を決めていない

問3 進学を希望する人におたずねします。
進学する場合の希望地域はどこですか。＜○は1つ＞

1. 但馬地域内	2. 兵庫県内
3. 鳥取県内	4. 京阪神圏
5. 首都圏	6. その他（具体的に： ）
7. まだ地域を決めていない	

問4 進学後も含めて、就職する場合の希望地域はどこですか。＜○は1つ＞

1. 新温泉町内	2. 但馬地域内
3. 兵庫県内	4. 鳥取県内
5. 京阪神圏	6. 首都圏
7. その他（具体的に： ）	8. まだ地域を決めていない

問5 前問で、「1. 新温泉町内」以外を選んだ人におたずねします。
その理由は何ですか。＜○は1つ＞

1. 就職したい会社がある	2. 新温泉町内に希望する仕事がない
3. 都会生活を体験したい	4. 親戚・先輩等の知人がいる
5. その他（具体的に： ）	

問 10 家族が希望する就職先はどこですか。＜○は1つ＞

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 新温泉町内 | 2. 但馬地域内 |
| 3. 兵庫県内 | 4. 鳥取県内 |
| 5. 京阪神圏 | 6. 首都圏 |
| 7. その他（具体的に： | ） 8. 何も言わない、わからない |

問 11 将来、どこに住みたいですか。＜○は1つ＞

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 新温泉町内 | 2. 但馬地域内 |
| 3. 兵庫県内 | 4. 鳥取県内 |
| 5. 京阪神圏 | 6. 首都圏 |
| 7. その他（具体的に： | ） |

問 12 進学・就職で新温泉町を離れても、将来は故郷にUターンする気持ちがありますか。
＜○は1つ＞

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. Uターンしたい | 2. Uターンしたくない |
| 3. その他（具体的に： | ） 4. わからない |

問 13 Uターンする気持ちがある人におたずねします。
Uターンを考える時期はいつ頃ですか。＜○は1つ＞

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 大学・短大などを卒業したとき | 2. 都会生活に満足したのち(5～10年後) |
| 3. 結婚や子育てが必要となる時期 | 4. 人生の転機（20年後程度） |
| 5. 定年後 | 6. その他（具体的に： |
| 7. わからない | ） |

問 14 新温泉町に愛着を感じますか。＜○は1つ＞

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 愛着を感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 感じない |
| 5. どちらともいえない | 6. わからない |

問 15 新温泉町のまちづくりに協力したいと思いますか。＜○は1つ＞

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 協力したい | 2. できれば協力したい |
| 3. 今その気持ちはない | 4. わからない |

問 16 新温泉町を若者にとって魅力的なまちとするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

--

問 17 浜坂高校の魅力は何ですか。

--

問 18 新温泉町のまちづくりについて自由に書いてください。

--

ご協力ありがとうございました。